

施設名・所在地	白浜幼保園（白浜第一幼稚園・白浜保育園） 和歌山県白浜町
設置主体	① 公立・私立
施設類型	① 幼保一体型 2 幼稚園型 3 保育所型 4 その他
施設の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・H9年から幼稚園と保育所の合同保育を実施。H12年から合築の一体型施設で実施。 ・幼稚園は4～5歳の2年保育で、同年齢の保育所児と合同保育を実施。 ・幼稚園児数20人、保育所児数119人（うち4～5歳55人）と、保育所児が多い。

1 職員配置

書面調査概要	<ul style="list-style-type: none"> ・職員配置は、幼・保それぞれの認可基準を満たす。4～5歳は併有者が対応。 ・園長を一本化して一体的運営を図る。非常勤の栄養士も配置。
①評価できる点など	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な人数を確保している。 ・子育て支援のために「指導保育士」という名称の専任を置いており、未就園の親子への対応や家庭への訪問指導を行っている。 ・障害のある子どもへの対応については非常勤職員を配置している。
②課題など	
③その他特記事項	

2 職員資格・研修

書面調査概要	<ul style="list-style-type: none"> ・常勤14人のうち10人が併有（幼のみ1人、保のみ3人）。
①評価できる点など	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの職員が幼・保の双方の免許資格を持ち、まったく一緒になり協力して行っている。（全員がローテーション制に組み込まれている） ・打ち合わせや研修のための時間を月に1回、16時半からの時間帯を確保している。 ・公開保育を順次行っている。 ・障害児の保育のための研究会を組織している。
②課題など	
③その他特記事項	

3 施設設備（4を除く）

書面調査概要	<ul style="list-style-type: none"> ・園舎1,610㎡、園庭1,420㎡
①評価できる点など	<ul style="list-style-type: none"> ・最近、建設された建物であり、多くの新しい工夫が見える。特に、木を多用していたり、子どものための小部屋を用意したり、テラスが広く取られていたり、子どもの多様な活動を可能にしている。 ・楽器や遊具などの設備も整っている。子育て支援のための玩具は外部のボランティアによる手作りのものが多くあり、豊かである。 ・年長児などは隣にある小学校の校庭を借りることもある。
②課題など	<ul style="list-style-type: none"> ・建物には日当たりによる夏の暑さや子どもの声が響くなどの問題があるようである。
③その他特記事項	

4 給食の状況

書面調査概要	<ul style="list-style-type: none"> ・自園方式。非常勤の栄養士を配置。
①評価できる点など	<ul style="list-style-type: none"> ・自園の中に調理室があり、食育への工夫もある。調理室の前に食堂があり、食育としての意味がある。 ・アレルギーへの対応を行っている。
②課題など	
③その他特記事項	

5 教育・保育内容① (6を除く) 教育課程・保育計画、指導計画等における工夫など

書面調査概要	・合同保育に配慮している。
①評価できる点など	・幼稚園・保育所を合わせた教育課程・保育計画を作成している。 短時間保育の子どもがいる間は同じ活動として、その後、長時間保育の子どもは昼寝やゆったりとした活動を行う。 ・月に1度の会でその都度の変更を行っている。
②課題など	
③その他特記事項	

6 教育・保育内容② 同一年齢保育及び異年齢保育の取り組み状況

書面調査概要	・異年齢保育は解体保育(5月～8月)や縦割り保育(9月～3月)などの工夫。
①評価できる点など	・同一年齢のクラスを基本としつつ、異年齢交流の活動を増やしている。 ・地域との交流も活発である。
②課題など	
③その他特記事項	

7 教育・保育内容③
その他

	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会は単一として、会議の日などは4月当初に話し合っ決めてる。 ・社会福祉協議会を通して、ボランティアが園外保育等に参加している。 ・小学校との連携では、保育所の児童票を指導要録形式にして小学校に送付。
--	---

8 子育て支援

書面調査概要	保育所を中心に、子育て相談等を実施。
①評価できる点など	<ul style="list-style-type: none"> ・週に1回の未就園の親子の登園は、園の中の2階の部分であり、就園の子どもとの交流も時にある。活動も保育士の援助などもあり、充実している。 ・希望すると、子ども単独ないし親子で通常クラスに入ることのできるサービスを開始した。 ・また、一時保育を行っており、幼稚園の保護者も希望すると可能である。 ・地域の未就園の全世帯への訪問を月1回、保育士(「指導保育士」)が行い、情報誌などを届けるとともに、相談に乗っている。
②課題など	
③その他特記事項	

9 その他

・町としての行政のサポート体制や総合施設への方針がしっかりしているようである。

施設名・所在地	育英北幼稚園・たまち保育園育英北分園 島根県松江市
設置主体	公立・ <u>私立</u> (学校法人・社会福祉法人)
施設類型	<u>1 幼保一体型</u> 2 幼稚園型 3 保育所型 4 その他
施設の特徴	・松江市において就学前教育保育推進特区(三歳未満児の幼稚園入園の容認)が試みられており、これをベースに幼稚園敷地内に保育所分園(本園と連携のもと3歳未満児のみを受け入れている。)を設置し、2歳児について合同活動を行っている。

1 職員配置

書面調査概要	・昨年秋の文書調査結果では、職員配置基準を満たしていなかった。 (1・2歳 併+保 7.0、3歳 併+保+幼 22.0)
①評価できる点など	・書面調査後、人員を確保し、職員配置基準を満たす。 ・幼稚園では、一時保育7名を本モデル事業として受け入れ、非常勤職員2名を加配、併せて親子登園を実施。保育所も非常勤職員1名加配し、親子登園を実施している。
②課題など	加配している職員経費の確保方法。
③その他特記事項	・書面審査では、職員配置基準を満たしていないとしているが、一時保育で受け入れている児童を含め、基準職員数で除したため不足が生じたもの。

2 職員資格・研修

書面調査概要	・併有者が多い。(併有 17人、幼のみ 4人、保のみ 0人、無資格者 0人) ・調理員なし。 ・経験年数5年未満の者が多い。
①評価できる点など	幼稚園8名中併有資格者4名、保育園分園は職員13名(非常勤3名含む。)全員が併有資格者であった。
②課題など	職員は、一月に一回程度、行事打ち合わせを中心に運営について意見交換、試行している段階であり、職員の相互理解、カリキュラムの統合は今後の課題と認識。
③その他特記事項	昼の午睡の時間や夕方の時間を確保するよう工夫する必要があると認識。

3 施設設備(4を除く)

書面調査概要	・施設面積が広い。 (一人当たり面積 園舎 11.66㎡、保育室 5.78㎡、運動場 11.36㎡)
①評価できる点など	3歳未満児特区を前提に施設整備が行われており、合同活動にも十分なスペースが確保されている。
②課題など	食育の観点から、調理設備について有効活用を検討する必要がある。
③その他特記事項	幼稚園児は外搬、個別対応の必要な児童は、献立表を見て保護者が給食に替わる副食を持たせている。

4 給食の状況

書面調査概要	・自園調理を行っている。 (0歳 9:30,10:30,15:00、1～2歳 9:30,11:00,15:30) ・給食費 月額 6,650円。
①評価できる点など	幼稚園、保育所とも年1回保護者の試食会を開催、残量調査により子どもの意向も献立に反映している。(幼稚園は外搬、保育所は本園の栄養士が献立作成、分園調理)
②課題など	食育の観点から、調理設備、業務について有効活用を検討する必要がある。
③その他特記事項	外搬食は、画一的で自園調理に比較して温かみに欠ける。保温面でも劣る。

5 教育・保育内容① 教育課程・保育計画、指導計画等における工夫など
(6を除く)

書面調査概要	・短時間、長時間の区別を行わず、全て短時間枠で扱い、14:30以降は預かり保育として取り扱っている。 ・カリキュラムの必要な保育は、14:30までの時間で行っている。
①評価できる点など	2歳児について行事の際、合同活動を実施。通常時は別運営で、ゆるやかな事業展開となっている。
②課題など	この成果をもとに、今後の合同活動や教育課程、保育計画、指導計画を調整予定。
③その他特記事項	現状は、合同活動について一つ一つを積み重ねている状況。

6 教育・保育内容② 同一年齢保育及び異年齢保育の取り組み状況

書面調査概要	・同一年齢の学級編成。 ・異年齢保育の実施なし。
①評価できる点など	・月1回半日程度の「なかよし保育」で異年齢児の合同活動を実施。
②課題など	
③その他特記事項	

7 教育・保育内容③
その他

	・2歳児のみのモデル事業実施であるため、他のモデル事業実施園とは対象児が異なるため、その実施方法は、行事の都度打ち合わせして合同活動を実施している。通年を経過していない段階でのカリキュラム設定は、現状困難であり、今後の課題となっている。
--	--

8 子育て支援

書面調査概要	・一時保育、親子登園を行っている。
①評価できる点など	幼稚園は、一時保育、親子登園を実施、そのために専任スタッフを雇用している。保育所も親子登園を実施し、随時受け入れている。(月平均3~4ペアー)
②課題など	ホームページや機関誌でPRしているが、利用は者は限定的で工夫が必要。
③その他特記事項	今後、市の広報等への掲載も要望していきたい。

施設名・所在地	はらこどもセンター 香川県牟礼町(平成18年1月から高松市)
設置主体	公立・私立
施設類型	1 幼保一体型 2 幼稚園型 3 保育所型 4 その他
施設の特徴	<ul style="list-style-type: none"> 平成14年度から合築形体で運営。センター専任のセンター長を配置。 園児数144(短時間37人 長時間107人) 教育活動は短時間児・長時間児の合同活動中心。

1 職員配置

書面調査概要	<ul style="list-style-type: none"> 短時間：3歳児12:1 4歳児14:1 5歳児11:1 長時間：0歳児3:1 1歳児6:1 2歳児6:1 3歳児8:1 4歳児21:1 5歳児22:1 3～5歳児では合同活動により複数担任制で実施。
①評価できる点など	<ul style="list-style-type: none"> 活動の内容に応じて、複数担任で行なったり、1担任で行ったり柔軟な対応。 用務員、看護婦、事務員が配置されていることにより教員の負担は軽減。 長時間児の早出補助、遅出の補助に幼稚園籍の教諭もシフトに組み入れ。 幼稚園教諭、保育士それぞれに併任辞令を出し、それぞれの時間に対応できるよう措置。 一時保育については、いつどのような子が対象になるか分からないため一番ベテランの保育士が対応。
②問題点など	<ul style="list-style-type: none"> 同一のことは行っているにもかかわらず、幼稚園籍と保育所籍での給与に差。
③その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> 看護師が配置されており、病後児保育を担当。

2 職員資格・研修

書面調査概要	<ul style="list-style-type: none"> 全ての職員が両資格併有。 午睡の時間を活用して研修を実施。
①評価できる点など	<ul style="list-style-type: none"> 複数担任制により、午睡の時間を活用し交代で研修が実施できている。
②問題点など	<ul style="list-style-type: none"> 全員集まった研修は、月1回しか行っていない。
③その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> 併有でなくても十分保育はできるという認識。免許・資格の一元化を要望。

3 施設設備(4を除く)

書面調査概要	
①評価できる点など	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園施設部分の保健室を子育て相談室として活用。 保育所施設部分の遊戯室を子育て支援の場として活用。 屋外での活動は、0～2歳児はウッドデッキで、3～5歳児は園庭と分けて安全面に配慮。
②問題点など	
③その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> 各年齢2つの保育室を用途に応じて使用

4 給食の状況

書面調査概要	<ul style="list-style-type: none"> 自園給食
①評価できる点など	<ul style="list-style-type: none"> 自園調理のため、暖かい給食が提供できている。 除去食の対応が図られている。また、年齢に応じておかずの大きさを調整。 無理に大きさを調整せず、噛むことも大事にする指導(食育)にも心がけている。
②問題点など	
③その他特記事項	

5 教育・保育内容① (6を除く) 教育課程・保育計画、指導計画等における工夫など

書面調査概要	
①評価できる点など	・モデル事業の実施を踏まえ、平成14年度に幼・保職員で作った幼稚園教育課程・保育所保育計画を再度検討し、独自の「はらこどもセンター生活プラン」作成(2月完成予定)
②問題点など	・長時間児と短時間児への配慮については、職員の各々の経験から結果的に配慮されている状況にあるが、具体的な配慮事項等については明確にされていない
③その他特記事項	

6 教育・保育内容② 同一年齢保育及び異年齢保育の取り組み状況

書面調査概要	・異年齢保育実施なし、短時間児・長時間児合同活動
①評価できる点など	・基本は同一年齢保育。短時間児と長時間児の共通部分を合同活動としてチーム保育で実施。異年齢保育は行事や自由遊びで実施
②問題点など	
③その他特記事項	・週1回、英語を実施。その時間は合同を解いて少人数のクラス編成で対応。

7 教育・保育内容③
その他

	<p>・幼稚園の預かり保育は実施していない。短時間児で必要な場合は、保育所の一時保育で対応</p> <p>・平成17年度の夏休みを幼稚園児は7月のみ実施し、8月は通常保育を実施。子どもの保育上の問題は少ない。保護者のニーズ調査でも保育ニーズは高い。</p>
--	--

8 子育て支援

書面調査概要	・週1回。低年齢児(0～3歳児)に施設開放(利用者 3～15人)
①評価できる点など	・子育て支援、子育て相談のための専用のスペースを設けている。特に相談室は個室であるため相談者のプライバシーが確保できている。子育て支援にも担当者がついている。
②問題点など	
③その他特記事項	

9 その他

- ・県内の保育士の数が不足している。
- ・はらこどもセンターについては、合併後の高松市において教育委員会の所管となり、教育委員会の方針として、現状のまま継続させる方針。

施設名・所在地	鳳鳴の里幼稚舎 佐賀県川副町
設置主体	公立・ <u>私立</u> (学校法人)
施設類型	1 幼保一体型 <u>2 幼稚園型</u> 3 保育所型 4 その他
施設の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園と認可外保育所との一体化施設。 ・園児数120人。(短時間児83人、長時間児37人)で、0歳児なし。 ・1～2歳児の短時間利用あり。(1歳児 5人、2歳児 8人)

1 職員配置

書面調査概要	・職員配置基準を満たしている。
①評価できる点など	・0～2歳児担当の保育士は、保育所経験者のみが担当している。
②課題など	
③その他特記事項	

2 職員資格・研修

書面調査概要	<ul style="list-style-type: none"> ・併有者が多い。 (併有 8人、幼のみ 2人、保のみ 0人、無資格者 1人) ・資格のある職員には経験年数5年未満の者が多い。
①評価できる点など	・毎週金曜に研修を実施している。
②課題など	
③その他特記事項	・来年度からは朝の就業時間を1時間早め、職員同士の事務連絡の時間をとることを検討している。

3 施設設備(4を除く)

書面調査概要	
①評価できる点など	・幼稚園と認可外保育所を利用して事業を実施しており、園舎以外は共用で幼保の区別なく利用されている。
②課題など	
③その他特記事項	

4 給食の状況

書面調査概要	<ul style="list-style-type: none"> ・自園調理を行っている。 (1歳 11:10、2歳 11:30、3歳 11:40、4歳 11:50、5歳 12:00)
①評価できる点など	<ul style="list-style-type: none"> ・食育を重んじ、取り組んでいる。 ・アレルギー児には除去食を実施している。
②課題など	・給食設備拡充のための予算措置が難しい。
③その他特記事項	

5 教育・保育内容① 教育課程・保育計画、指導計画等における工夫など
(6を除く)

書面調査概要	・全員が17:00頃まで保育されており、短時間児、長時間児の合同活動をする上で違いはない。
①評価できる点など	・0・1歳児、2歳児、3歳児、4歳児、5歳児というクラスごとに保育日案が作成されており、年齢に応じてカリキュラムが工夫されている。
②課題など	
③その他特記事項	

6 教育・保育内容② 同一年齢保育及び異年齢保育の取り組み状況

書面調査概要	・同一年齢の学級編成。
①評価できる点など	・幼稚園児すべてが預かり保育を活用していることもあり、幼保の区別がほとんど見受けられない。 ・異年齢交流の実施。
②課題など	
③その他特記事項	

7 教育・保育内容③
その他

	・地域の小学校や老人ホームとの交流を行っている。 ・組名と同じ野菜や果物等を栽培し、食とのふれあいを体験している。
--	--

8 子育て支援

書面調査概要	・親子登園や有識者による勉強会を行っている。
①評価できる点など	・専任の保育士を配置して実施。 ・0歳～未就園児の親子を対象に週2回実施。 ・自由あそび、リフレッシュ体操、体験遊びなど日替わりのプログラムを実施している。 ・誕生会や運動会などの園行事にも参加している。
②課題など	
③その他特記事項	

施設名・所在地	光の子グレース幼保園・光の子保育園 長崎県佐世保市
設置主体	公立・ <u>私立</u> (学校法人・社会福祉法人)
施設類型	<u>1 幼保一体型</u> 2 幼稚園型 3 保育所型 4 その他
施設の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・同一経営者(学校法人、社会福祉法人)による幼稚園と保育園が隣接 ・当該施設以外に、乳幼児保育園、学童クラブ、児童センター、在宅看護支援センターを運営 ・合同保育を一部実施(年長園児)、園行事、給食等において合同保育を実施

1 職員配置

書面調査概要	・低年齢保育クラスには、設置基準より重点的に教員を配置
①評価できる点など	・両施設における採用・雇用・配置・担当研修を全教員でローテーション・人事交流を図っている
②課題など	・総合施設化による幼・保教員の経験格差が顕著にできてしまっている。(幼児教員の方が経験豊富になるとのこと)
③その他特記事項	

2 職員資格・研修

書面調査概要	・全教員が併有資格(幼稚園教員、保育士)者
①評価できる点など	・全教員による毎日の統一カリキュラムの研修(勉強会・意見交換会)を実施
②課題など	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の総合施設移行時期にあたり、保→幼転換教員の移行研修プログラムが課題 ・低年齢保育児に適応した幼児教育開発が検討課題
③その他特記事項	・幼、保の現配置教員の監察報告を理事長中心に実施中。研修プログラムの素材として今後、検討

3 施設設備(4を除く)

書面調査概要	・就園年齢に応じた保育施設を設置
①評価できる点など	<ul style="list-style-type: none"> ・複数施設(幼・保、学童クラブ、児童センター)が隣接しており、園児の安全を保持しながら、相互の往来を可能としている。 ・外来者の監視体制が万全(監視カメラ等の設置)
②課題など	・細いが車の往来が激しい道路に面し、近隣の他施設への移動が不安材料
③その他特記事項	

4 給食の状況

書面調査概要	<ul style="list-style-type: none"> ・自園調理 ・アレルギー児童に対応した特別給食メニューを設置 ・低年齢保育児用のメニューを発育段階ごとに設置
①評価できる点など	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養士(2名)を中心に食育を実施(毎日の給食時の献立説明、見回りを実施) ・地元の農協業者による地産地消を給食献立で実施
②課題など	
③その他特記事項	

5 教育・保育内容① 教育課程・保育計画、指導計画等における工夫など
(6を除く)

書面調査概要	・統一カリキュラムを今年度から実施
①評価できる点など	・統一カリキュラムの実施による評価を勉強会・交流会で実施
②課題など	・保育教員の幼児カリキュラム転換時による経験不足が課題
③その他特記事項	

6 教育・保育内容② 同一年齢保育及び異年齢保育の取り組み状況

書面調査概要	・3～5歳児において部分的に実施
①評価できる点など	・日常の活動(行事、給食、自由遊技等)において常時、異年齢交流を実施
②課題など	・異年齢交流活動による負の部分(いじめなど)が常時化することを教員で是正することが必要
③その他特記事項	・保育のみの3～5歳児について、週1回の一括保育を実施 ・幼稚園では、毎日の活動において異年齢交流を実施

7 教育・保育内容③
その他

<ul style="list-style-type: none"> ・休業日等への対応(幼稚園でも休日の預かり保育を実施) ・発育、発達の遅れや心身の障害などの個別的対応(保育所設置基準に加配して設置) ・苦情受付責任者を設置

8 子育て支援

書面調査概要	・在・退園保護者を対象に三世代交流、異年齢交流、母親クラブ、子育て講演会等を実施
①評価できる点など	・法人設置施設の特色上、地域の産後から社会人保護者の広域に渡る交流が可能であり、実際に施設を中心として事業を実施しているため、地域の子育ての中心となっている。
②課題など	・自前経費で実施するのが負担
③その他特記事項	

施設名・所在地	立正幼稚園 宮崎県南郷町
設置主体	公立・ <u>私立</u> (学校法人)
施設類型	1 幼保一体型 <u>2 幼稚園型</u> 3 保育所型 4 その他
施設の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園が本モデル事業で低年齢児を保育する形で開始。 ・園児数60名。(保護者の希望により、預かり保育による長時間利用。) ・低年齢児の保育数はまだ少ない。0歳児なし、1歳児 2人、2歳児 2人。

1 職員配置

書面調査概要	・職員配置基準を満たしている。
①評価できる点など	<ul style="list-style-type: none"> ・学年ごとの担任制を実施している。 ・夏休み中は、当番制で2名を配置している。 ・9月より経験年数の長い保育士を配置している。
②課題など	
③その他特記事項	

2 職員資格・研修

書面調査概要	<ul style="list-style-type: none"> ・無資格者を除き、常勤職員。(併有 2人、幼のみ 3人、保のみ 1人、無資格者1人) ・栄養士なし。 ・合同職員研修を実施。
①評価できる点など	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル事業に関する研修会を行った。 ・町内の幼稚園、保育所、小学校、中学校の長、主任等が集まり、お互いの授業を参観する場を設けており、教育・保育、安全面について情報を共有し役立っている。
②課題など	・職員一人一人が保育に関する勉強に意欲的だが、職員が揃う時間が限られており、研修時間の確保が課題となっている。
③その他特記事項	

3 施設設備(4を除く)

書面調査概要	・運動場が広い。(一人当たり面積 19.28㎡)
①評価できる点など	<ul style="list-style-type: none"> ・午睡の部屋が確保されている。 ・遊具の配置された園庭とは別に、運動場が設置されている。
②課題など	・1～2歳児クラスの窓枠、柵等の設備への配慮が求められる。
③その他特記事項	・学級数分の部屋が確保されておらず、満3歳児(年度中に満3歳になる児童)クラスは、教育・保育内容に応じて1～2歳児クラス、3～4歳児クラスの部屋を行き来している。

4 給食の状況

書面調査概要	・自園調理を行っている。
①評価できる点など	<ul style="list-style-type: none"> ・平成8年より自園調理を行っているが、今年度は保護者の希望に応じて、夏休み等の長期休暇中も給食を実施するようになった。 ・調理員が児童の年齢に応じて、食事の量、具材の刻み方、煮込む時間を調整している。 ・クラス担任が児童と一緒に給食をとっている。
②課題など	・年齢に応じた栄養管理については、これからの課題となっている。
③その他特記事項	

5 教育・保育内容① 教育課程・保育計画、指導計画等における工夫など
(6を除く)

書面調査概要	・幼稚園と保育園の機能を生かした教育・保育の推進や、合同活動の実施をする等、可能な限り融合を図っている。
①評価できる点など	・1～2歳児、満3歳児、3～4歳児、5歳児クラス別に年度・月・週・日案が作成されている。 ・今後、1～2歳児については個人表(児童の一日の過ごし方、健康状態を個人ごとに表にしたもの)を導入する予定であり、児童一人一人に対する配慮を高めていく工夫が進められている。
②課題など	・1～6歳まで一貫した指導計画が立てられるよう、試行錯誤の段階である。
③その他特記事項	・1～2歳児保育は、カリキュラムの設定のない自由保育中心となっている。

6 教育・保育内容② 同一年齢保育及び異年齢保育の取り組み状況

書面調査概要	・3歳、3～4歳、5歳の学級編成。 ・異年齢保育を実施。
①評価できる点など	・短時間児、長時間児の区分を設けず、14:30まではカリキュラムに応じた教育・保育を行う設定保育、14:30以降の預かり保育の時間帯は、カリキュラムを設けない自由保育を年齢別に行っている。 ・遠足、運動会、お遊戯等の行事の際には、1～5歳児全体で取組めるよう、遠足の場所や移動手段、運動会、お遊戯の項目等、年齢別に配慮を行っている。
②課題など	・1～5歳児全体を通した活動が、園庭での遊びや朝の体操、行事等に限られており、異年齢児の交流を設けていくことが課題となっている。
③その他特記事項	

7 教育・保育内容③
その他

	・小学生、中学生とのふれあいの機会を設けている。 ・月1回、丁寧な幼稚園だよりを作成している。(表紙は手作りの切り絵で、児童の名前が入っており、内容は年齢クラス別のページ構成になっている。)
--	--

8 子育て支援

書面調査概要	・親子登園を実施。
①評価できる点など	・6月より毎週水曜日実施。 ・クリスマス会は、園児、親子登園利用児の合同で行った。 ・今後、参加人数を増やしてサークルを作ることを考えており、意欲的である。
②課題など	
③その他特記事項	・午睡の部屋を使用している。

9 その他

	・小規模施設にとっては、幼稚園、保育所の会計制度の違いが事務処理への大きな負担になっている。 ・保育所の認可についても、小規模施設への配慮が求められる。 ・子育て支援についても、保育所における地域子育て支援センターのような助成を必要としている。
--	--